

朝日信用金庫の環境への取組みについて

朝日信用金庫は、地域社会の担い手として、地球環境の保全を企業の果たすべき社会的責任として受け止め、あらゆる事業活動において、環境保全・保護に取り組んでいます。

今後も、資源の効率的な利用や廃棄物の削減を実施するとともに、気候変動リスクの高まりに呼応し、環境問題に配慮した新商品開発等に積極的に取り組み、地域の環境保全活動を推進してまいります。



【100%再生可能エネルギーを使用】

当金庫は、実質再生可能エネルギー由来の電気を100%導入する契約を東京電力エナジーパートナー株式会社と締結し、令和4年7月より利用を開始しました。これにより、令和2年の使用電力と比較すると約89%相当が「100%再生可能エネルギー」に切り換えられ、CO₂の削減が図られます。また、令和4年5月25日、100%再生エネルギーを促進する新たな枠組み「再エネ100宣言 RE Action」に加盟し、以下の目標値を設定しました。今後もCO₂削減を推進してまいります。



《朝日信用金庫の目標値》

- 2030年までに使用電力の**90%以上**を再エネ化
- 2050年までに使用電力の**100%**を再エネ化

【ペーパーレスの促進】

店頭や営業係にタブレットを導入し、書類の電子化を促進しています。また、令和2年から業務改革によるペーパーレスを進め、融資ファイルなど内部管理書類を電子化・集中化により保管書類の約9割を電子化しました。

【「環境対応型融資商品」の取扱い】

太陽光発電などの省エネ設備を設置した住宅を対象にした住宅ローンや、エコカー購入の際のマイカーローンの金利を優遇し、お取引先の環境問題への取組みを応援しています。令和3年6月、SDGs に繋がる取組みを応援する『朝日 SDGs サポート』の取扱いを始めました。

【エコキャップ推進活動】

当金庫は、平成20年1月より“ゴミとなるペットボトルキャップを収集し、そのリサイクルによる収益金で開発途上国の子どもたちにワクチンを届けよう”という「エコキャップ推進活動」を全職員で開始しました。その後、全店のATMコーナーにキャップの回収ボックスを置き、地域の皆さまにもご協力いただいております。これまでの回収累計は1億8,316万個を超えており、約1,358トンの二酸化炭素を削減したことになります(令和6年11月末)。



【印刷物への対応】

地球温暖化防止への取組みとして、当金庫の通帳・証書・カレンダー、パンフレットなどの印刷物に、制作時に発生したCO₂を相殺するカーボンオフセットやFSC森林認証紙などを積極的に採用しています。



【環境に配慮した店舗づくり】

平成 23 年より店舗を新築する際には、LED 照明や二重ガラスなど環境に配慮した省エネ設備を積極的に採り入れ、13 店舗で導入しています。また、本店ビルや本部ビル（豊島町支店）には、太陽光発電システムや屋上緑化・壁面緑化を採用しています。



詳しくは当金庫ホームページをご覧ください。

<https://www.asahi-shinkin.co.jp/index.html>